

決算特別委員会

委員は2頁に記載のとおり

委員外 佐藤議員・永井議員・高橋議員・加藤議員

審議事項

認定1号から7号まで（4頁の議案等の賛否状況一覧をご覧ください。）

主な質疑

Q 交付税算定の対象となる基準財政需要額が増えるような事業についてどう考えるか。

A 事業内容によって、交付税措置される割合が決められているので、できるだけ高いものを見込みながら、基準財政需要額を下げないよう考えたい。

Q 財政調整基金は、どれくらい保持していくべきと考えるか。

A 本市の財政調整基金は、20億円ほどの残

高だが、年度途中の補正の財源や防災上、緊急に必要な場合を想定すると最低限10億円ぐらいは保持していきたい。

Q 市税のコンビニ納付について、利用人数利用金額は。

A 2万8504件、4億9838万円である。

Q まちづくり勉強会運営費補助業務委託の内容と委託費が高いのでは。

A 委託費について、一般の建設コンサルタントに比べ公益財団法人に委託していることから適切な請負額と考

Q 転用件数が前年度と比べて増えた理由は。

A 農地の転用件数が、名古屋港を利用する流通業務関係の転用案件が増えたことによるものである。

Q 国民健康保険にお

ける30年度から始まる広域化に向けての見通しは。

A 県における、国からの負担割合を試算し、各市町村が負担する納付金が見込まれる予定である。一般会計から特別会計への繰入金をどう考えるかが重要である。そのことを踏まえて市が負担していく金額を検討していきたい。

Q 各小中学校におけるトイレの洋式化の今後の計画は。

A 日の出小学校と弥富中学校を除く全校の洋式化率を3年で50%を目標に27年度より取り組んでいる。

Q 各学校の体育館の吊り天井の撤去は全て終了しているが、今後避難所となる社会教育施設の対策は考えているか。

A 順次改修していく予定である。

※採決は、4頁議案等の賛否状況一覧を参照。

認定第1号、認定第3号、認定第4号、認定第5号及び認定第7号の5件に対し反対討論があった。

主な事業成果

防犯灯全灯LED化事業

798万円

新白鳥保育所整備工事の完了

1億1095万円

プレミアム付のきんちゃん商品券発行

3020万円

屋内運動場吊り天井撤去等耐震改修工事

2億8778万円

各小中学校のトイレ洋式化工事

1874万円

特別会計の決算額と採決結果

会計名	歳入	歳出	採決
土地取得	6778万円	6778万円	全員賛成で認定
国民健康保険	49億6515万円	49億670万円	反対2：賛成13で認定
後期高齢者医療	4億5413万円	4億4980万円	反対2：賛成13で認定
介護保険	27億7011万円	27億1876万円	反対2：賛成13で認定
農業集落排水事業	2億8505万円	2億5682万円	全員賛成で認定
公共下水道事業	8億6420万円	8億2852万円	反対2：賛成13で認定